

## **VI** 整備に向けて

---

## 1 整備に向けて

### (1) 整備・運営に係る基本的な考え方と事業手法について

博物館内での体験に加え、緑地を活用した館外での体験を付加することで、より効果的に事業を展開できることから、集客活用エリアのうち博物館用地に隣接する部分を活用して、一体的に整備することを想定します。

レストランやミュージアムショップなどについては、魅力あるサービスを提供できるよう、設計・建設から維持管理・運営まで独立採算で行う民間施設を併設する形態をとることを想定します。

博物館の事業手法については、併設する民間施設が設計・建設から維持管理・運営までを一体的に行う手法であることから、両者の事業連携を促進するため、同様の手法（PFI（BTO）方式又はDBO方式）のうち、設計・建設の段階から運用のしやすさなどを見据えた整備が期待でき、トータルコスト面で優位なDBO方式を導入します。

### (2) 概算整備事業費

近年整備された類似施設の実績から、概算整備事業費（建築設計・工事費、展示設計・製作設置費、備品・開設準備費）は、約50億円（消費税込み）を想定します。

造成等に要する事業費や運営費は、要求水準書を作成する中で精査していきます。

### (3) 整備スケジュール

令和4（2022）年度から要求水準書の作成に着手し、令和5（2023）年度までに事業者を選定します。

令和6（2024）年度から整備に着手し、令和9（2027）年度開館を目指します。